

令和5年度教育ボランティアスタートセミナー

4月12日に、令和5年度教育ボランティアスタートセミナーが開催されました。このセミナーでは運営委員代表からの話や、グループ協議、そして甲斐市立玉幡小学校の久保田勲教頭先生からの話があり、「教育ボランティアとはどういうものだろうか?」という疑問や不安を解消するためのセミナーとして行われました。本通信では、それらの様子について報告させていただきます。

まずはグループで協議をし、その内容を報告しあいました。グループ協議では主に各コースに分かれ教育ボランティアの経験者の先輩方から、教育ボランティアについての体験談や活動についての疑問をお聞きしたりしました。具体的には、活動先のお話や、どんな活動をするのか、どういったことに気を付ける必要があるのかなどについて話し合いました。初めての教育ボランティアでどうしたらいいかわからないことが多い新入生たちがほとんどでしたが、先輩方の話を聞くことで活動に対する見通しなどが持てるようになったと思います。参加した方の感想では、「活動に対するハードルが下がったので、参加してみたい意欲が増えた」という意見や「実際に行った先輩方の話を聞いて教育ボランティアのイメージをつかむことが出来た」「質問もしやすい雰囲気でも有意義な時間を過ごせた」などの意見がありました。



協議の後は受け入れ先の先生である玉幡小学校の久保田先生から、教育ボランティアをするメリットや、教育実習と教育ボランティアの違いなどについてお話していただきました。教育ボランティアは教育実習とは異なり、教育現場で職員の一員として経験を積むことが出来る。それはよりリアルな教育現場を体験することであり、教育ボランティアに参加する意義だということや、教育ボランティアには積極性がとても重要であるという、活動するにあたっての心構えなどについてもお話していただきました。

今回のセミナーでは、一年生をはじめと多くの学生が参加し、とても充実したセミナーとなりました。このセミナーをきっかけに、多くの学生が教育ボランティアに積極的に参加していただくと嬉しいです。